

事業者名	徳島県								
機器名	LCRメータ								
写真									
特徴・用途	測定対象部品に印加する電圧・電流・周波数を設定し、電子部品を繋ぐだけで誰でも容易にLCR値を数値で素早く読み取れる高精度の装置。高性能高効率の電気電子回路の設計や、実使用環境下でのLCR値を正確に把握するために使用。								
設置場所	徳島県立工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 26年1月	9	0	4	0	0	3	2	9
	H 26年2月	11	0	8	0	0	3	4	15
	H 26年3月	7	0	8	0	0	0	2	10
	H 26年4月	16	0	12	0	0	0	4	16
	H 26年5月	10	0	4	0	0	1	5	10
	H 26年6月	8	0	1	0	0	2	5	8
	H 26年7月	12	0	4	0	0	3	6	13
	H 26年8月	14	0	6	0	0	2	6	14
	H 26年9月	8	0	0	0	0	4	4	8
	H 26年10月	10	0	7	0	0	5	3	15
	H 26年11月	12	0	8	0	0	4	6	18
H 26年12月	7	0	5	0	0	1	2	8	
利用者等の声	・インピーダンスアナライザを用いた測定では時間がかかることから、これまでは、技術相談レベルの簡易な内容でも依頼試験としての対応が多かったが、LCRメータでは瞬時に結果が得られるので技術相談で完了することが多く、迅速かつ安価に結果が得られるようになった。								
研究開発事例等	・糖尿病用血管機能検査装置 ・LED照明								
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-043koho.pdf								

事業者名	徳島県								
機器名	エネルギー分散型微小部分分析装置								
写真									
特徴・用途	微小部の蛍光X線を測定し、そこに存在する元素の定性・定量分析を行う。 依頼分析・試験研究に使用。								
設置場所	徳島県立工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 26年1月	6	1					5	6
	H 26年2月	3	3					2	5
	H 26年3月	1	0					1	1
	H 26年4月	6	2	1				3	6
	H 26年5月	9	10					4	14
	H 26年6月	8	11					5	16
	H 26年7月	9	17	1				1	19
	H 26年8月	5	10					1	11
	H 26年9月	10	8					2	10
	H 26年10月	13	9					5	14
	H 26年11月	8	4					4	8
H 26年12月	6	8					5	13	
研究開発事例 等	<ul style="list-style-type: none"> ・CFRPの加工等に関する研究 ・プラスチック材料への金属メッキに関する研究 ・合成微粉末の元素分析 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-043koho.pdf								

事業者名	徳島県									
機器名	マイクロ波試料前処理装置									
写真										
特徴・用途	ICP発光分析装置や原子吸光分析装置等で測定するために試料を分解、溶液化する装置。密閉容器で加圧して分解するために、開放系では分解困難な試料を処理することが出来る。									
設置場所	徳島県立工業技術センター									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	H 26年1月	2	3							3
	H 26年2月	6	6							6
	H 26年3月	0								0
	H 26年4月	2	2							2
	H 26年5月	0								0
	H 26年6月	0								0
	H 26年7月	2	2							2
	H 26年8月	2	2							2
	H 26年9月	5	8							8
	H 26年10月	6						7		7
	H 26年11月	0								0
H 26年12月	0								0	
利用者等の声	・ピーカー等を用いて試料を処理する場合に比べて、短時間で分解溶液化が可能となった。									
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-043koho.pdf									